

# 人口減少時代の 都市空間論

2018年1月26日(金) 13:30-17:00

建築会館ホール (東京都港区芝 5-26-20)

饗庭 伸

(首都大学東京 教授)

「都市のたたみ方」

本間 裕大

(東京大学生産技術研究所 准教授)

「都市形成の数理解析」

三牧 浩也

(柏の葉アーバンデザインセンター 副センター長)

「専門家・地域・行政の関係の再構築による  
都市空間バランスの可能性」

大野 秀敏

(東京大学 名誉教授)

「コンパクトシティのオルタナティブ」

はじめに: 鈴木 弘樹

(主査・千葉大学)

主旨説明: 宗政 由桐

(東京電機大学)

まとめ: 佐藤 将之

(早稲田大学)

記録: 恒松 良純

(東北学院大学)

太幡 英亮

(名古屋大学)

都市計画は従来、国や自治体によるトップダウン型の手法を採用することでわが国の発展を支えてきたが、人口減少・少子化・高齢化社会に突入した現在、ボトムアップ型のまちづくりが盛んに議論され始めている。人が生活する都市空間においてインフラストラクチャは必須要素であるため、ボトムアップのみでまちづくりを行うには困難を伴うが、ここ30年においてもコンパクトシティ・スマートシティといった人口減少時代の新しい都市計画の概念が提唱され、実空間都市においても実行され始めている。国に頼らない自治体独自のまちづくりによって都市を集約することは可能であるのかを都市空間的視点から議論したい。

本シンポジウムは、コンパクトシティ・スマートシティに関連する研究者・実務者を招き、今後の都市計画・まちづくりにおける新しい手法や施策、最先端の試みについて講演し、討議を通じて都市空間やその構造の変革の可能性について探求することを目的とする。

参加費: 会員 1,000 円、会員外 2,000 円、学生 500 円 (資料代含む/当日会場払い)

定員: 200 名

申込方法: <http://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=612771> よりお申し込みください。

申込問合せ: 日本建築学会事務局 事業グループ 榎本 TEL: 03-3456-2051 E-mail: [enomoto@aij.or.jp](mailto:enomoto@aij.or.jp)

主催: 日本建築学会 建築計画委員会 計画基礎運営委員会 空間研究小委員会

第 83 回 空間研究小委員会研究会

# 人口減少時代の都市空間論

2018 年 1 月 26 日 (金) 13:30 ~ 17:00 建築会館ホール

司会 宗政由桐 (東京電機大学)

記録 恒松良純 (東北学院大学)、太幡英亮 (名古屋大学)

1. はじめに 鈴木弘樹 (千葉大学・空間研究小委員会主査)
2. 主旨説明 宗政由桐 (前掲)
3. 話題提供
  - ① 都市のたたみ方  
饗庭 伸 (首都大学東京)
  - ② 都市形成の数理解析  
本間裕大 (東京大学生産技術研究所)
  - ③ 専門家・地域・行政の関係の再構築による都市空間ガバナンスの可能性  
三牧浩也 (UDCK | 柏の葉アーバンデザインセンター)
  - ④ コンパクトシティのオルタナティブ  
大野秀敏 (アプルデザインワークショップ・東京大学名誉教授)
4. 質疑・討論
5. まとめ 佐藤将之 (早稲田大学・空間研究小委員会シンポジウム WG 前主査)

都市計画は従来、国や自治体によるトップダウン型の手法を採ることによってわが国の発展を支えてきたが、人口減少・少子化・高齢化社会に突入した現在、ボトムアップ型のまちづくりが盛んに議論され始めている。人が生活する都市空間においてインフラストラクチャは必須要素であるため、ボトムアップのみでまちづくりを行うには困難を伴うが、ここ 30 年においてもコンパクトシティ・スマートシティといった人口減少時代の新しい都市計画の概念が提唱され、実空間都市においても実行され始めている。国に頼らない自治体独自のまちづくりによって都市を集約することは可能であるのかを都市空間的視点から議論したい。

本シンポジウムは、コンパクトシティ・スマートシティに関連する研究者・実務者を招き、今後の都市計画・まちづくりにおける新しい手法や施策、最先端の試みについて講演し、討議を通じて都市空間やその構造の変革の可能性について探求することを目的とする。